- 雇用就農資金を活用した取組事例 -

京都府京丹後市ビオ・ラビッツ株式会社



- ▶ 有機農業に必要な生産管理システムを体系化し、基礎知識・技術から時間をかけて人材を育成する。
- ▶ 働きやすい労働条件や明るい環境を作り、話し合いによる情報共有、自主性を尊重し、成長を促す。

概要

【設立】2020年4月

【代表者】 梅本 修

【売 上】6,300万円

【事業内容】有機野菜の生産販売・加工販売

【経営面積】 7ha

【従業員数】10名

【ホームページ】Organic Cafe てんとうむしばたけ (tentoumushi-batake.com)



人材育成等の特徴的な取り組み

【人材育成】

- 自然の摂理を学び、命を預かる仕事としての有機的な思考を高めるプラン。
- ・OJTによる気づきを引き出すと伴に、定期的な勉強会によりスキルアップを図る。
- 仕事だけでなく、社会的な問題解決に関わる能力を養う。

【安心の職場環境】

有給、育休など取りやすく、従業員が安心して働ける職場環境の醸成に努めている。

【農業×就職×移住体験】

・不安を感じる人には、先ずは地域、農業体験をしてもらい「京都・農と暮らしのインターン(事業)」を活用して、雇用のミスマッチの解消に努めている。

キャリアプランイメージ

OJT(4年:雇用就農資金活用)

品目責任者(5年目~)

部門マネジャー (10年目~)

- ・基礎的な有機栽培技術修得
- ・担当品目の生産計画の立案・遂行
- ・部門の経営計画策定

- 夢を語れるプログラム
- 夢を実現させるプログラム
- 夢をさらに大きくする